

文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究(平成17-21年度)●セム系部族社会の形成/ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合的研究

西アジア部族社会とビシュリ山系

日時:2008年2月16日(土) 10:00-17:00●入場:無料●定員:先着70名

会場:サンシャインシティ コンファレンスルームRoom6 (ワールドインポートマート5階)

交通:池袋駅東口から徒歩8分●東池袋駅(地下鉄有楽町線)2番出口から徒歩3分●東池袋4丁目駅(都電)から徒歩4分

●主催:特定領域研究「セム系部族社会の形成」総括班

お問い合わせ:東京大学総合研究博物館 西秋良宏 03-5841-2491●(財)古代オリエント博物館 宮下佐江子 03-3989-3494

<http://homepage.kokushikan.ac.jp/kaonuma/tokuteiryouteki/index.html>

●プログラム

10:00 趣旨説明 大沼克彦

【基調報告】

10:10 2007年度ビシュリ山系の総合調査 大沼克彦(国士館大学教授)

【ビシュリ山系の自然と文化】

10:30 メソポタミアにおける考古遺跡のデータベース化の研究—衛星画像解析による探査法 松本 健(国士館大学教授)

10:50 ガーナム・アリ周辺に発達する河岸段丘と微地形 齊藤 毅(名城大学准教授)

11:10 ガーナム・アリ村の歴史 常木 晃(筑波大学教授)

11:30 新石器時代のビシュリ 西秋良宏(東京大学教授)

11:50-13:00 昼食

【セム系民族の生活と歴史】

13:00 北メソポタミア・ハムリン遺跡群出土頭蓋骨の3次元形態変異とその時代的変遷

萩原直道(京都大学助教)・巻島美幸(京都大学教務補佐員)・石田英実(滋賀県立大学教授)

13:20 セム系部族社会の生業基盤 本郷一美(総合研究大学院大学准教授)

13:40 ユーフラテス河中流域の古代建築遺構 岡田保良(国士館大学教授)

14:00 パルミラのテッセラについて 宮下佐江子(古代オリエント博物館研究員)

【考古・文献資料からみた部族】

14:20 旧石器時代に“部族”の可能性を探る 佐藤宏之(東京大学教授)

14:40-15:00 休憩

15:00 シュメール“語彙リスト”のシリアにおける受容 前川和也(国士館大学教授)

15:20 テル・タバノ出土文字資料から見た部族 沼本宏俊(国士館大学教授)・山田重郎(筑波大学准教授)

15:40 初期騎馬遊牧民の考古学からみた部族 高浜 秀(金沢大学教授)

16:00 遊牧部族の形成—カア・アブ・トレイハ西遺跡におけるケルン壘造営集団の分層化 藤井純夫(金沢大学教授)

【総合討論】

16:20-17:00 ビシュリ山系に西アジア部族社会の起源を探る 司会:藤井純夫